

『鹿背山城』

15世紀に奈良・興福寺に関連する仏教施設が置かれたことに始まり、戦国時代に大和国（現在の奈良県）を支配した興福寺が出城として整備、後に、戦国武将・松永久秀が大和国の北部を支配した際に山城国（現在の京都府南部）に対する防衛拠点として改修が加えられたと考えられています。山城としては山城国最大級の規模を誇り、織田信長の安土城築城などにも影響を与えたとされる松永久秀の時代の遺構が、良好な状態で残されています。

※鹿背山城跡のご見学について

戦国時代の山城は、山の斜面を削り、あるいは盛り土をするなどして造られており、決して歩き易いものではありません。鹿背山城では文化財保護の点からも、観光地としての整備は行っていませんので、現地をご見学される際は軽登山程度のご準備をお勧めします。

また、夏場は下草や蚊なども多く、晩秋～春の登城がお奨めです。

『木津の文化財と緑を守る会』では、例年2月頃に鹿背山城の見学会を行っています。ホームページでもご案内を掲載しますので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。

『木津の文化財と緑を守る会』

昭和53年より、京都府木津川市（旧相楽郡木津町）で、主に旧木津町や南山城地域の歴史や考古に関する文化活動を行っています。

主な活動として、鹿背山城跡の整備活動のほか、木津町をはじめ南山城地域に関する史料を用いた勉強会や鹿背山城をはじめとした史跡の見学会の開催、歴史学や考古学の著名な専門家や文化人を招いての講演会の主催などを行っています。

- ・会長 岩井 照芳
- ・会員数 約110名（平成24年4月現在）
- ・ホームページ <http://kizu1978.info/index.html>

鹿背山城跡模型について

木津の文化財と緑を守る会では、平成23年度事業の一部として、鹿背山城跡の模型を製作しました。現在は山城郷土資料館（ふるさとミュージアム山城）に寄託し、常設で展示を行っていただいています。また、木津・京都・奈良周辺の各地で年数回の展示見学会を行っており、ホームページでもお知らせしています。是非、ご見学下さい。

木津の文化財と緑を守る会

